

蔵

kurara

蔵
Vol.46
2010.夏

企画・発行／小玉醸造株式会社 ●秋田県湯沢市飯田川飯塚字飯塚三四の一 ●TEL018-1504 ●TEL018-9772100 FAX018-9772104
発行人小玉真一郎 編集／出版印刷株式会社 専任 専白本事業部 デザイン 有限会社 オフ 写真／佐藤勝彦 取材文／海老名エディタール事務所



季刊【蔵】四拾六の巻
夏号

太平山 ヤマキウ

故郷

秋田の四季
湯沢市

点描

爽快、豪快、野趣あふれる自然の温泉 落差20m。滝壺がそのまま湯船になった 川原毛大湯滝



秋田、岩手、宮城の県境に位置する栗駒山の麓は温泉の宝庫。その中でも最も個性豊かな温泉が「川原毛大湯滝」です。その名のごとく、滝そのものが温泉という日本最大級の湯滝。上流1km、川原毛地獄付近で湧出する温泉が沢水と合流。川となって流れ、約20mの高さからダイナミックに流れ落ちてきます。滝つぼや溪流はすべて天然の露天風呂になっており入浴無料。入浴適期は7月上旬から9月中旬。入浴時は水着着用が原則で近くには更衣室があります。滝まで是最寄りの駐車場から徒歩約15分。豪快で爽快。まさに野趣あふれる入浴を楽しむことができます。なお、岩手宮城内陸地震の影響で通行止めだった国道342号が5月30日に全線開通。東北道一関ICから栗駒山、秋田方面のアクセスが格段に良くなりました。

清酒「太平山」誕生の祖であり、現在へと続く
弊社繁栄の基礎を築いてきた大立者。その人生を終焉す。

老いてなお、
仕事に精励するも……

昭和25年4月6日。小玉家2代目
当主にして、小玉合名会社代表の小
玉友吉が逝去します。享年78、家族
に看取られながらの最期でした。前年
の昭和24年には、会社創業70周年記
念式典を挙げる。この節目を記念して、
長年の夢であった「小玉発酵化学研究
所」別荘「喜寿荘」の建築を計画する
など、年を重ねてなお意欲的な日々を
送る友吉でしたが、11月のある日、陣
頭指揮にあたっていた自宅工事現場で
転倒し右ひざ頭を負傷。この怪我が



晩年の小玉友吉。



昭和5年。50周年記念式
典で挨拶する小玉友吉

昭和初期の
弊社経営陣



昭和2年、羽後飯塚
駅開業を祝う宣伝隊

きっかけで体調を崩すようになり
ます。原因不明の体調不調で主治
医も困惑しますが、精密検査の結
果は白血病。主治医、専門医らの献
身的な治療を受けつつも、最期の時
を迎えることとなりました。

晩年は町会議員として 地域の問題を解決

小玉家2代目当主であった友吉は、
明治40年、小玉合名会社設立とともに
に初代社長に就任。家業から企業へ
の大きな転身を図ります。秋田市内

に支店を設け、商圏を一気に拡大
するとともに、大正2年には酒造
業に着手。醬油・味噌、そして清酒
の醸造という現在に続く弊社の基
礎を完成させます。昭和9年には
「太平山」が全国首席優等賞を受
賞。以降は清酒の販売網は、県外、

首都圏へと広がり、弊社躍進の時期を迎
えました。会社全体の売り上げも好調で、
昭和初期には工場・蔵を次々と増築。現
在も現役として使われている酒蔵、味噌
蔵の多くはこの時期に作られたものです。
地域共栄を使命とした友吉はまた、地
元のインフラ整備にも熱心な人でした。
飯田川周辺の新田開発、奥羽線羽後飯塚
駅の開設、銀行、郵便局の誘致にはじま
り、飯塚神明社の改築工事、小玉家菩提
寺となる開得寺の創建。そして、晩年75
歳を過ぎた時には固辞し続けてきた政
治の世界に身を置く事に。町会議員とし
て地域の問題解決に尽力しました。明治、
大正、昭和と、まさに激動の時代を走り
抜けてきた傑物は、戦後復興の息吹に安
堵したかのように一族の後進に後を託し
たのでした。



清酒太平山は中国へも渡った。戦前には中国進出の計画が実現直前まで進んでいた



戦後まもなくの本舎全景。写真に写る建物のほますべてが現存。現在も使用されている



「小玉発酵化学研究所」として完成するも、後に、社の厚生施設として利用された「小玉会館」

学生総数約750名。うち150名ほどが留学生



就職率100%。
トップ企業が注目する大学

秋田市郊外にある公立大学法人国際教養大学(AIU)。開学は、'04年4月と最近ながら、入試難易度は旧帝大クラス以上。就職率は100%。しかも、その多くが国内外のトップ企業。全国で教育・企業関係者の中で最も注目されている大学のひとつだ。中嶋氏と秋田との出会いは、今から10年以上前のこと。秋田県が誘致したミネソタ州立大学機構秋田校の閉校にともない、新たな可能性を探るための打診を受けたのがきっかけだ。

国際教養大学学長のお話

国際教養大学学長
中嶋 嶺雄さん



<プロフィール>
1936年 長野県松本市生まれ
国際教養大学理事・学長。東京外国語大学中国科卒業。東大大学院社会学研究科修了。社会学博士。専攻は国際社会学・現代中国学。オーストラリア国立大学、カルフォルニア大学の客員教授などを歴任。東京外国語大学学長、文部科学省中央教育審議会委員を経て'04年現職に就任。

中嶋氏の近著「全球」教育論。AIU開学につながる氏の基本姿勢が綴られている(1500円/西村書店)



り「自らの理想を実現できる」ことを条件に参画。'00年4月、国際系大学(学部)検討委員会発足ともに委員長に就任。引き続き'02年3月に発足した国際系大学(仮称)設立準備委員会でも委員長を務め、開学に向けての準備を進めることとなる。

強力なリーダーシップで
大学を運営

中嶋氏が目指したのは「世界で

活躍できる国際教養人を育成する大学」国際基準の大学だ。「世界における日本の地位の低下(国際共通語でもある英語力のなさに起因する。英語教育は国際戦略との考えから、学内すべての授業、会議を英語で実施。学生は1年間の留学(提携大学は世界31カ国108大学/10年5月現在)が義務付けられている。1年生は全寮制。ルームメイトは留学生が原則ゆえ、居ながらにして語学力の

アップ、異文化交流を図ることができる。入試スタイルも多様だ。合格点には満たないものの、秀でた科目があるなどの学生を暫定的に入学させ、一年間の成績次第で正式に入学を許可する「暫定入学」も採用。まさに、いままでの日本にない大学。それを実現するために、学長が理事長を兼務することで、強いリーダーシップを発揮できるようにし、敏速で柔軟な大学運営を可能とした。当初は準備段階だけの参画の予定だったが、周囲の強い声に推され開学とともに学長に就任。非常に緊張感がありますが、とてもやりがいがあります」と中嶋氏。数多くの関係者が携わり開学したAIUだが、その根幹にあるものは中嶋氏の信念と熱意。そのものと言っても過言ではない。



秋田杉が特徴の図書館は24時間開館している



授業は教養科目が中心。1クラス15名程度の少人数制を導入する



秋田市中心部から車で約30分。キャンパスは秋田県中央運動公園、秋田空港に隣接(左)

学内には寮、アパートも併設する(右)

太平山を飲めるお店をご紹介いたします。

太平山が飲める おすすめ お店

秋田市 大町

BAR AKARI

夜はバーのマスター。昼は香水やアロマを扱う、香りの伝道者。多彩な顔を持つ主人との会話もまた楽しい。



秋田市の代表的な繁華街・川反に隣接する通称横町にあり、21時15分〜深夜2時30分と、夜の深い時間に営業することから、2次会、3次会の会場としても人気。店名には「BAR」と謳われているが、雰囲気はとても和やか。客席はカウンター席7、テーブル席が約20。カラオケもあり、カラオケパブ的に利用するグループも多い。ドリンク主体ゆえフード類は簡単な酒肴程度。それでも、お通しには旬を感じさせる一品とフルーツを必ず提供するというのが店主・石川さんの小さなこだわりでもある。石川さんは30歳代後半。ご家族が、再開発前から秋田駅前前で店を営んでいることに



加え、ご自身もさらに、川反の対岸となる土手長町で飲食店を手がけていたとのこと。秋田屈指の繁華街の変貌を見届けて来た世代。時に昔の思い出話に花が咲くこともあるという。なお、料金はチャージ制を採用。ワンドリンク、お通し、水、氷、カラオケがセットで一人2000円。お得な飲み放題料金(2時間/カラオケ込み)もあり、銘柄限定プランは一人3000円、全銘柄OKのプランは一人4000円。

お酒、料理

- お酒
太平山 熱燗(二合) 800円
太平山 生酛純米 300ml 1000円
太平山純米大吟醸 天巧 一合1000円
- おすすめ料理
チャージ(ワンドリンク、お通し、水、氷、カラオケ込) 2000円
飲み放題プラン
銘柄指定あり 3000円/2時間
銘柄指定なし 4000円/2時間

秋田県秋田市大町5-3-23
横町クロスビル2F
TEL018-863-8773
営業時間/21:15~2:30(L0~2:00)
定休日/日曜(連休時は最終日)



お酒、料理

- お酒
太平山 梅酒 一合 400円
太平山 辛口 一合 400円
太平山純米吟醸 澄月 一合 800円
太平山純米大吟醸 天巧 一合 1200円
- おすすめ料理
おまかせコース料理 3000円~5000円
単品料理 350円位~

秋田県秋田市高陽幸町5-15
TEL018-823-3251
営業時間/17:30~22:30
(L0~22:00)
定休日/月曜



隠家 あわい

秋田市 山王

まさに街中の隠れ家的存在。心とむ、その雰囲気もまた魅力的



秋田市の官庁街・山王地区から徒歩約7分。閑静な住宅街にたえず「あわい」。主は函館市。秋田市の日本料理の名店を経て5年前に独立。外観はごく普通の民家。玄関に灯る「あわい」の小さな看板だけが目印となる知る人ぞ知る一軒。店名は「時空のあいま、人と人との組み合わせも」を意味する「間(あわい)」に由来。その言葉の響きから「街中にたえず淡い空間↓隠家的存在の店でありたい」との意味も込められており、宣伝はおろか取材も極力控えているのだとか。それでも評判が口コミで広がり、幅広い世代のお客様の支持を得ている。秋田の旬を堪能できる料理は、おまか

せコース料理で楽しむのがオススメ。「日本酒が楽しめる料理を心がけています」とのこと。「男鹿の鯛とジュンサイの貝焼き」「ワラビの味噌タタキ」「牛肉とミズの陶板焼き」など、「あわい」ならではの手法でいただける。もちろん、単品での利用も可能。常時25種類ほどの酒肴が用意されている。客席数は計約30席。カウンター、テーブル席、小上がり、個室(8名程度まで)と、それぞれの用途に応じた使い方ができるのも魅力。人気店ゆえ、利用時にはできるだけ予約したい。



弊社代表・小玉真一郎、
中村征夫さん、椎名誠
さんの3ショット



ブルーホールのイベント企画第2弾

椎名誠さんのトークショーが
開催されました

椎名誠さんを招いてのトーク
ショーが3月13日(土)に開催さ
れました。客席数350人に対し
700を超える応募があり、県内
はもとより、岩手、仙台、東京、さ
らには、福岡から1泊2日の行程
で参加された方もいるなど、ブル
ーホール見学を兼ねて津々浦々か
らご参加いただきました。



左から弊社・小玉館長、中村さん、
福岡から一人で参加いただいた榎
本さん。中村さんのご発案で、こ
の日最も早くから参加いただいた
榎本さんのためにスペシャルシー
トをサプライズプレゼント。



講演終了後に行われたサイン会は
長蛇の列。終了まで約1時間。最
後のお一方まで丁寧にサインいた
だきました。



中村さんも笑顔でサイン。このよ
うなさりげない仕草にもお人柄が
にじみます



椎名さんの大ファンという榎本さ
ん。帰宅後、この日の出来事を1
時間以上かけてご家族にお話し
いただいたか。次回ならば蔵開きの
時もお待ちしております



コート姿で壇上へ。
真っ黒に日焼けした顔が印象的

小玉醸造株式会社のモノ造り物語

秋田オリジナル酵母と伝統の生酏造りで仕込んだ数量限定酒
秋田酵母 No.12 仕込み
太平山 生酏純米吟醸 十二

昨年春正式デビューした秋
田酵母No.12。秋田県総合食品
研究所醸造試験場、秋田醸友
会、秋田市内の酒販店、さら
に、弊社製造部酒類課長・伊藤
和樹も委員を務める秋田県酒
造技術研究委員会、清酒分析委
員会が合同で開発した県オリ
ジナルの酵母です。「太平山」で
は、この秋田酵母No.12を使っ
た生酏造りの純米吟醸酒を7月
6日から発売します。原料米は

「秋田酒こまち」。精米
歩合は掛米・麴米とも
に55%。09年〜10年
シーズンの厳寒期に仕込み、火
入れ瓶詰めの後、摂氏1〜3度
で低温貯蔵。生酒にも似たフ
レッシュな風味をそのままお届
けします。秋田酵母No.12最大の
特徴は、バナナにも似たフルー
ティーな香り。軽快な飲み口で
ありながら、生酏造りならではの
のシツカリとした存在感が特徴

です。一方で、口中での香りの
広がりは控えめ。吟醸酒ならで
はのクリアな旨味を感じさせる
お酒で食中酒としても最適。繊
細な白身魚から鍋、肉料理まで、
料理を選ばない万能タイプで
す。なお、太平山では同時期に
開発された秋田酵母No.15仕込
みのお酒も今秋発売予定です。



秋田県内
&
通販限定
販売

ホスト役の中村さんと椎名さん
の出会いには1985年、テレビ番
組の制作がきっかけとのこと。今
回は「世界の面白不思議話」と題し、
世界各地を旅して得た経験、知識
を紹介。「極北の狩猟民族は、動物
の脂を灯りの燃料に使う。脂は貴
重ゆえに肉は焼かない」という文化
が伝承されており、生食を偏見す
るのは差別につながりかねない。
また、モンゴルでは、移動式家屋
の床に乾燥させた動物のフンを敷
き、発酵時の発熱効果を利用した
天然の床暖房を取り入れており、
すべてを無駄にしない知恵が活か
されている」など、地域独自の価
値観、生活習慣を紹介。「現代社会
の一番の問題は、異文化の相克(ぶ
つかりあい)。互いの環境の違い
を理解することが必要。一方の価
値観を押し付けることを改めるこ
とで争いがなくなる。誰かがそれ
を伝えなくては」と、その熱い思
いをお話いただきました。

